

第 10 号 2006/2/28



ひまわりふあみりーかるた

written by Daisuke

自分の話をするという今年の目標。孫燕（ソンエン）さんの影響もあり、年が明けてからずっと上海の話をしています。

話すきっかけは前回のカルタで書いた北陸ワークショップの前夜に名古屋のお父さんと話した事がとっても大きい気がしています。

今年に入ってから数えると5回。いろんなファミリーで上海の話をしました。最初はぎこちなかつたと思うけど、なんとなく話せるかもという自分がいます。今はうまく文章に出来ないのですが、自分の話をたくさんすることが喋れる近道のような気がしています。自分は“よっこ”の中国語はすごいなーといつも思っています。そのよっこが「何だか段々上手くなっているね」と嬉しいことを言ってくれました。

2月10日、11日に孫燕さんがうちにスティしてくれた時の話ですが・・・。二人っきりになった瞬間がありました。その時、この上海の話を孫燕さんにしたのです。孫燕さんは「中国にはもう何年も帰ってないから、故郷の話をされると懐かしくて嬉しい」と言ってくれました。中国人に対して、つたない中国語で自分の話が出来る自分がそこにはいました。これってすごくないですか？

1月末に東京で開催されたお父さんワークショップに参加しました。そこでなんと数年ぶりに上海に一緒に行った“がっちゃん”に会いました。これまた何か運命的とまでいいませんが、偶然を感じました。がっちゃんに、最近になって上海の話をしていると話したところ「ヒッポには古くて新しい話がたくさんある」と言われました。素敵なことばだね。

今度はこの交流話も含めて紙芝居を作ったらみんなで共有できるんじゃないかと今は思っています。昔は何でも話せると思っていた自分がいました。そんな感覚を思い出しつつある気がします。つたない文章ですが、こうやって記録に出来ることもとっても嬉しいです。

まとめた文章にはならないのですが、同じ話でも何度もすると膨らんでいく気がします。みんなも些細な発見や自分の話をたくさんして、たくさん歌いましょう。

ふあみりーに出て自分の話を何回もしよう。それが一番の近道かもしれない。喋れる人の真似をしよう。

以上

さんちゃん：090-4687-5277

大輔： 090-2121-0582

Tel&Fax： 076-262-0148

